

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
水素 EV コンバート自動車の作製
実施日
平成 30 年 11 月 3 日 (土) 11:00 ~ 平成 30 年 11 月 3 日 (土) 18:00
実施場所
広島大学法人本部棟 玄関周辺
企画代表者の氏名, 所属
氏名: 魏弘之 所属: 工学研究科
構成員の氏名
高岸佳治 草野雄也
指導的立場の教員氏名
市川 貴之
企画の目的及び内容
中古車を改造し、環境に良い水素を使った発電による電気自動車を作製する。 学生によって作製された安価な水素自動車を学祭にて発表することによって、 今後の水素社会発展の一つのケースとして世間にアピールする。
来場者数
443 人
主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)
活動の内容 (準備, 広報活動, 当日の様子等)
<p>大学祭に向けて水素コンバート EV 車両の整備及び製作とポスター等による説明の準備を行い、当日は広島大学が所持している水素自動車 (RX-8) と共に車両の展示し、次世代の自動車の仕組みについて実物を用いて説明を行った。</p> <p>次世代の自動車の仕組み及びこれからの水素社会の話をわかりやすく説明し、また次世代の自動車が低価格で作製可能なことをアピールした。</p> <p>学外の方には、広島大学で水素社会推進のためにどのようなことを行っているか知ってもらうための説明を行った。</p> <p>水素コンバート EV 車両の作製に当たって部品の製作はフェニックス工房で職員の指導のもと行った。また、車両の整備は体育会自動車部の整備工場ですべて安全に配慮しながら行った。車両について公道での走行は行わず、安全に配慮された場所でのみ行った。</p> <p>大学祭にて広島大学が所持している水素自動車 (RX-8) と共に展示し紹介を行った。当日は自動車についての説明のポスターと水素社会に関するポスターを作製し展示を行い、来ていただいたお客さんに水素社会と水素自動車についての説明を行った。</p>

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

学祭当日には 443 名の見学者に来ていただいた。老若男女問わず、また海外の方含めて水素自動車や水素社会に興味をもっていただき、さまざまな説明を行うことができた。また、今後の水素社会や水素自動車発展のために様々な討論を行うことができた。中には一日に 3 回以上来ていただいたお客様や 3 時間以上熱心に説明を聞いていただいたお客様もあり、とても充実した企画になったと感じた。

課題としては、今回の展示では安全上の都合で RX-8 と水素コンバート EV 自動車の始動や走行を行うことができなかったことだ。走行状態を見たいお客様も多く、機会があれば走行も含めた展示を行いたいと思う。またお客様により分かりやすく説明を行うために簡単な実験など、水素自動車とポスター以外の展示も行いたいと思う。また水素コンバート EV 車両についても、航続距離などの課題が残っているため、より充電容量の多いバッテリーの搭載や、より水素貯蔵量の多い水素急増合金タンクの搭載など更なる発展を行いたいと思う。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学研究科支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)